

側鎖導入間隔が制御されたポリアクリレート類似体の合成と水和状態および抗血栓性の変化

園田, 敏貴

<https://hdl.handle.net/2324/4475080>

出版情報 : Kyushu University, 2020, 博士 (工学), 課程博士
バージョン :
権利関係 :



氏 名	園田 敏貴			
論 文 名	側鎖導入間隔が制御されたポリアクリレート類似体の合成と 水和状態および抗血栓性の変化			
論文調査委員	主 査	九州大学	教授	氏名 田中 賢
	副 査	九州大学	教授	氏名 高原 淳
	副 査	九州大学	教授	氏名 田中 敬二
	副 査	九州大学	准教授	氏名 森 健

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は、抗血栓性材料の設計指針を構築すること目的とし、側鎖の導入間隔が制御された新規高分子による水和状態の制御方法を新たに提案している。側鎖導入間隔を精密に変更する化学構造設計により、低温結晶形成を示す水和水の量の制御に成功し、抗血栓性との相関関係を明らかにしている。本研究で得られた知見は、生体成分と材料の相互作用のメカニズム解明だけではなく、医療機器用の材料設計において有益なものであり、高分子化学および材料工学の発展に寄与するところが大きい。よって、本論文は博士（工学）の学位論文に値すると認める。